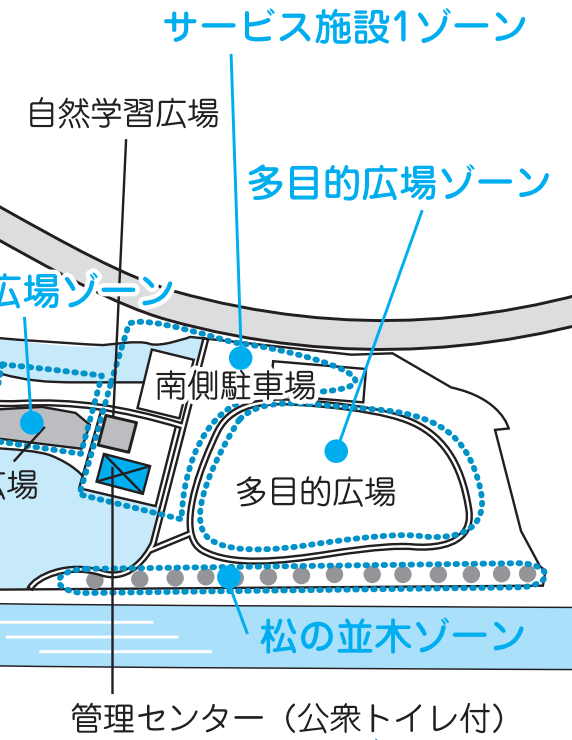


重箱緑地整備事業の基本計画 見直し(案)がまとまりました。

鳥取市は、浜坂地区にある「遊水地」(洪水時の水量を調整するための貯水地) 通称「重箱地区」を有効に活用しようとして、平成十三年度に「重箱緑地整備事業の基本計画(案)」を策定し、広く市民のみなさんの意見やアイデアを伺いました。その中で、みなさんから「地域の特性を活かした、人と自然がふれあう公園にしてほしい」という多くの意見を頂き、再度、基本計画を見直すこととし、平成十四年十一月、「基本計画策定検討会」を設置して、検討を行い、基本計画の見直し(案)をまとめました。

見直し(案)では、市街地に残る重箱地区の豊かな自然を生かし、基本方針の一つに、「水辺・自然学習公園」を取り入れるなど、いくつかの見直しを行っています。概要は、次のとおりです。
みなさんのご意見をお寄せください。



集い・憩いのエリア

■テーマ

「自然と共生する
旧袋川遊水公園・重箱」

■基本方針 (3つの公園像)

- ① 「水辺・自然学習公園」
- ② 「ふるさとの川や歴史と
親しむ公園」
- ③ 「集い・ふれあい・憩い・
安らげる公園」



事業の目的

この事業は、千代川水系改修工事により浜坂地区にできた「遊水地」(通称・重箱地区/十五・五ヘクタール)を多目的公園として有効利用することを目的としています。

基本計画の考え方

豊かな自然が残り、市民の生活に密着した親しみのある

重箱地区は、丸山城跡や千代川の歴史を知るうえでも貴重な地区です。この地区を、左表のテーマと基本方針を柱に、都市化する地区周辺に残された自然を保全・再生し、市民が身近に感じられ自然とふれあう活動ができる場に整備します。また、生物の観察や学習ができる場としても整備をします。